



介護保険制度改正について問う / 学校給食無償化について問う / 三輪博美議員 (日本共産党小平市議団)



介護保険制度改正について問う

質問 グランテラス小平団地が2024年6月に開所予定となつていますが、利用者の定員数や募集開始時期など進捗状況は。

市長 定員数については運営法人から、特別養護老人ホームの定員は99人、ショートステイの定員は17人、デイサービスの定員は30人を予定していると聞いています。募集開始時期などの進捗状況について運営法人に確認したところ、利用料金などの詳細が確定していないため、募集開始時期も決まっていないとのことである。

学校給食無償化について問う

質問 給食費は自治体の意思で無償化できるのではないかと、市と教育委員会の見解は。

市長 学校給食費については、自治体の判断で無償化することは可能と認識しており、教育委員会と同様の見解である。

教育長 学校給食法第11条第2項の学校給食費は保護者の負担であるという規定は、費用の負担関係を明示しているものと認識しているが、保護者が負担する給食費に対し、自治体の判断で補助を行うことは可能であると捉えている。



PFAAS汚染水問題 / デジタル地域通貨による地域経済活性化 (市議会れいわ新選組)



PFAAS汚染水問題について

質問 ①国のPFAASに対する総合戦略検討専門家会議が、国は自治体に対し河川等のモニタリング調査の実施を働きかけていくなどとする提言をまとめたが、国や都から指示はあったか。

市長 ①具体的な指示はない。②協議会の構成市ではないため回答をもう立場にないが、7月に国から構成自治体に情報提供があったと承知している。

デジタル地域通貨発行による地域経済等の活性化について

質問 ①2024年9月にPayPay決済での還元キャンペーンを開催したが、地元の消費喚起ができたかの分析、検証結果は。

市長 ①1か月間の使用金額は例月の3・2倍で大きな効果があった。売上げ記録を伸ばせた等の声があったが、大規模店舗に売上げが流れる傾向があった。②地域経済に一定の効果がある可能性を持つツールだが、費用対効果を見極める必要があり、現段階では他市を注視していく。



民間連携でまちづくりを / 平塚市中彫刻美術館を市のカラーに (政和会)



公共施設は、行政と民間が連携してまちづくりを進めるべき

質問 ①岩手県紫波町のオガールプロジェクトへの評価は。また、小平市では何ができるか。

市長 ①町や地元事業者が出資し設立したまちづくり会社が中心となり、公共施設整備と民間による経済開発の複合実施で成果を上げたかと捉えている。市でも公共施設の整備等でコストメリット等が見込まれる際は公民連携手法の導入を検討していく。

②新たな運動施設を整備する予定はないが、東部公園プール



利益相反問題 / 第三者性の確保 / 情報公開制度の欠陥 / その他 (一人会派の会)



行政不服審査会の利益相反と云える問題はどうか

質問 市の行政不服審査会の委員長と副委員長は市の顧問弁護士であるため利益相反で公平中立な審査ができないと指摘したがその後どう検討したか。

市長 多摩26市で、市の顧問弁護士が行政不服審査会委員を兼務しているのは小平市のみであった。直ちに問題が生じるとは考えていないが任期満了に合わせ委員の入替えを検討している。

40周年で平塚市中彫刻美術館を市のカラーとして打ち出そう

質問 ①運営面、経営面等の現状と課題は。

市長 ①耐震基準値を大きく下回る数値が出たため、耐震補強等が最優先課題である。入館者の増加等のためSNS等での情報発信を検討する必要がある。

②連携の取組として津田塾大学茶室部の協力によるお茶会等を実施してきた。今後も様々な主体との連携の取組を研究する。



学校内外のソフト・ハードの充実を / 87の政策の進捗を問う (政和会)



新教育長の下での学校内外のソフト・ハードの充実を

質問 ①通学路の防犯カメラのエリア拡大について見解は。

市長 ①中学校部活動での自転車移動解禁について、自転車利用時のヘルメット着用が努力義務化されたことも踏まえ、見解は。

教育長 ①一定の充足率が確保できていない。通学路合同点検で要望はなく現時点で拡大の考えはない。新たな設置等は6年度以降、必要性を見極めていく。

②新たな整備は考えていないが、校舎の改築等の機会を捉え、

市長公約87の政策の進捗を問う

質問 ①87の政策43番の展覧会は、残りの任期、財源を鑑みたとき、公約未達で終わる公算が高い政策はあるか。

市長 ①小・中学校の給食無償化について、食料費の高騰への対応を含め、6年度に向けての検討を行うよう指示した。

②鋭意課題と向き合い、関連事業の推進を図る等していくことから、現時点で未達のまま終わることは想定していない。



みどりの適切なマネジメントに向けて (政和会)



みどりの適切なマネジメントに向けて

質問 ①緑化推進委員会による小平市におけるナラ枯れ病対策の緊急提言を受け、樹木の経過観察等についての現状は。

市長 ①地域の市民団体と連携して令和3年度と4年度にはトランプ設置による対策を行い、経過観察したほか、4年度は一部の樹木に薬剤注入等を行っている。



非核・平和事業の継続と発展 / 生活保護 / 学校統廃合を問う (日本共産党小平市議団)



小平市の非核・平和事業の継続と発展を求め

質問 5年度の平和首長会議総会に出席する場合、市民へ報告を行うつもりか。

市長 昨年の同総会では、市の取組として小・中学生広島平和学習を紹介し、加盟都市と平和への取組を確認しあったことを市ホームページで報告した。今後も引き続き、市ホームページ等で活動内容等の報告に努める。

生活保護制度が真にセーフティネットとなることを求める

質問 生活保護担当ケースワーカーの増員についての考えは。

市長 公共施設マネジメント推進計画では、小・中連携教育や児童・生徒数の適正規模など、教育的要素に配慮しながら統合を検討していくこととしており、学習環境に支障が出ないよう、教育委員会と連携していく。

用語の解説

※1 アピランスケアとは 治療等に伴う外見の変化を、医学的、整容的、心理社会的支援を用いて補完し、患者の苦痛を軽減するケアのこと。

※2 起立性調節障害とは 思春期に多い、自律神経の不調による病気のことで、脳や全身に必要な血液が行き渡らず、目まい等が生じる。起床時に強く症状が現れ、登校できなくなる子どももいる。

※3 フードドライブとは 家庭で余っている食品を持ち寄り、地域の福祉団体や施設等に寄附する活動のこと。

※4 チャットGPTとは 質問等を入力すると、AI(人工知能)が人間同士の会話のように自然な表現で応答する対話型AIのこと。要約やプログラム作成等もできる。

※5 わいわい文庫とは 公益財団法人伊藤忠記念財団が製作した、音声と一緒に文字や画像が表示される児童書のデジタル図書のこと。同人法にて、DVD等に収納し学校等に寄贈されている。

※6 リーディングトラックとは 読みづらさを抱える人等が読みたい行に集中できるように、読みたい行を隠して読み進められる読書支援用具のこと。

※7 デジタル地域通貨とは 特定の地域内で利用できる電子通貨のこと。主にスマートフォン等の専用アプリを使用して決済する。

※1 アピランスケアとは 治療等に伴う外見の変化を、医学的、整容的、心理社会的支援を用いて補完し、患者の苦痛を軽減するケアのこと。

※2 起立性調節障害とは 思春期に多い、自律神経の不調による病気のことで、脳や全身に必要な血液が行き渡らず、目まい等が生じる。起床時に強く症状が現れ、登校できなくなる子どももいる。

一般質問